

図書館報

No.
140
1996.6

MAKE GOOD USE OF THE LIBRARY

院長
L. K. シート



The English word "library" comes from the Latin word which means "book." Although modern libraries, like the one here at Seinan Gakuin University, contain many other things in addition to books, I take this means to urge you students especially to make good use of the books in the library.

A British minister once said, "A library may be regarded as the solemn chamber in which a man [or woman] may take counsel with all who have been wise, and great, and good, and glorious among the men [and women] who have gone before" (George Dawson, d. 1876). This is possible mostly because of the library books.

Francis Bacon (d. 1621), the noted English author and philosopher, remarked: "Some books are to be tasted; others swallowed; and some few to be chewed and digested." I hope that during your student days here at SGU you will taste a great many of the books in the library. It may be all right to swallow some books, please do not do so uncritically. Whatever you read needs to be

carefully evaluated before swallowing. Then, only a few books, those that are the most important of all, should be "chewed and digested."

As you use the library and feast upon the books there, I would like for you to remember that the Bible was the first book ever to be printed. A replica of that first Gutenberg Bible is in a glass case on the second floor of our library, and I hope you will take a good look at it.

Not only was the Bible the first book to be published, Christians believe that the Bible is the most important book ever to be printed. The English word "Bible" comes from the Greek word which means "book." Sometimes in English the Bible is simply called "the Book" or "the Good Book."

Of all the books in the world, the Bible is certainly one of the most important to "chew and digest." So I encourage you to make good use of the books in the 193 or 194 sections of the library to help you digest the Bible, "the Book of books."

L. K. Sheet

《目 次》

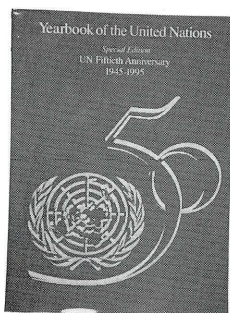
巻頭言.....	院長 L. K. シート.....	1
国際機関資料室を利用してみよう.....		2~3
A: ¥Access./Lib. 「まず一冊」.....	文学部英文学科教授 片岡 章.....	4
図書館の存在.....	経営学研究科経営学専攻 原口 薫子.....	4
図書館はワンダーランド.....	博士後期課程2年 高嶋 祐一郎.....	5
私の図書館利用法.....	文学部国際文化学科教授 中村 千尋.....	5
カウンターから見た図書館.....		6
新着図書・お知らせ.....		7~8

国際機関資料室を利用してみよう

国際機関資料室は、国際連合・E U（欧州連合）・O E C Dといった国際機関に関する資料を取り扱っており、学内だけでなく幅広く一般に公開している施設です。いろんな資料をとり揃えていますので、国際経済学や国際関係法学を学ぶ学生はもちろんのこと、国際機関に少しでも興味のある方はぜひ一度、利用してみてください。

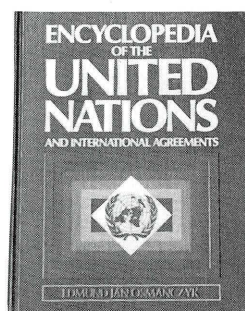
★国連寄託図書館（United Nations Depository Library）とは

国連が各国の公的図書館に国連の刊行する資料を寄託しているところです。日本には現在13館あり次のような資料があります。



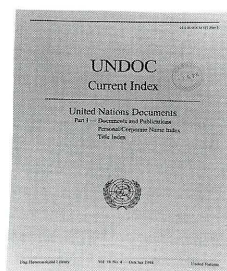
UN Yearbook

1年毎に発行されており、その年の各行事の詳しい沿革について掲載している。ある活動を年代を追って、あるいは年間を通じて調査する場合には有効な資料となる。



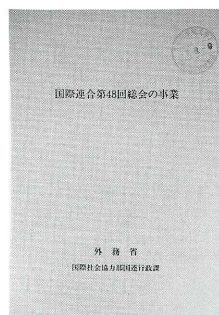
Encyclopedia of UN

検索する事柄の年がわからない時に有効な資料。国連の百科事典。



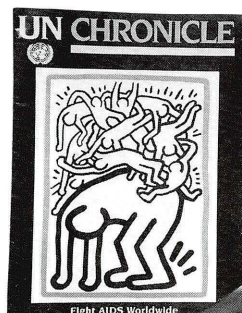
UNDOC Current Index

国連本部にある図書館に受入れられた国連刊行のドキュメント・公式記録図書を包括的に掲載したもの。キーワードやドキュメント記号で検索することができる。



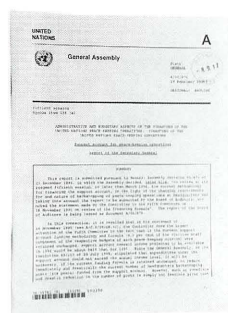
国際連合総会の事業

外務省発行で、会期ごとの総会において審議された各議題についてその審議経緯と結果を記述し、事業を概説したもの。



UN Chronicle

年4回発行され、国連の最新情報がわかりやすく掲載されている。



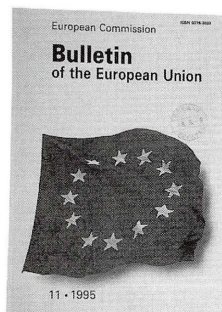
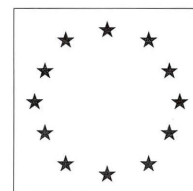
ドキュメント

総会・安全保障理事会・経済社会理事会をはじめ下部機関までの会議の議事録。会期前・会期中に配布される最新情報を知る重要な資料。

上に挙げた資料は基本的によく使われる資料です。この他に図書・雑誌・日本語資料など豊富に所蔵していますので、英語が苦手な方でも利用できるようになっています。

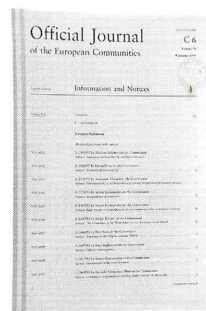
★EU資料センター (European Documentation Center) とは

欧州委員会により、欧州統合関係文献専門の資料センターとして援助されたもので、世界各地約400の大学に設けられています。日本には本学を含めて20館あります。



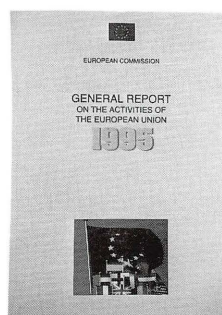
Bulletin of the EU

EUの月例報告書。主要政策分野の各種出来事や外交関係・政治協力の進展について記述している。



Official Journal C Series

EUが現在行っている活動について掲載されている。議事概要・欧州裁判所の判決概要・欧州議会の質問書及び委員会の回答など掲載。この他、EU法を掲載している。L Seriesもある。



General Report

共同体の事業の進展や近い将来に予定されている活動について述べた包括的な年次報告書。



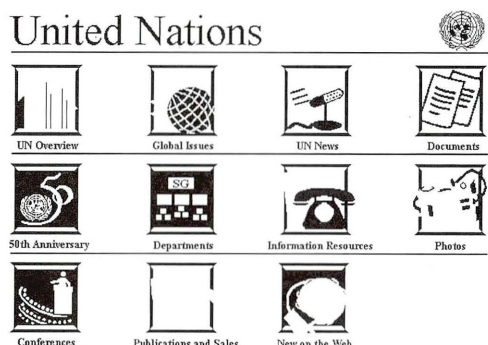
月刊ヨーロッパ

2ヵ月に1回駐日欧州委員会より発行され、EUの主要トピックをわかりやすく日本語で解説したものを掲載している。

このような資料を利用して検索をすることができます。もしこれらの資料や検索方法についてわからないことがありましたら係員がわかりやすく教えますので遠慮なく聞いてみて下さい。

また、インターネットにより上述した機関の情報も検索することができます。インターネットにも興味のある方はこちらの方からも調べてみてはどうでしょうか。

国際連合のホームページ



We also have a [text-only home page](#).

This Home Page is maintained by the UN Department of Public Information with the technical expertise of the Electronic Services Division. Please [send us your comments](#).

© United Nations 1996

アドレス：<http://www.un.org>.

EU (欧州連合) のホームページ

Welcome to EUROPA, a WWW-server offering information on the European Union's goals and policies. EUROPA is a common endeavour of the EU's institutions, run by the European Commission.

From now, EUROPA's address is <http://europa.eu.int>

The previous address will remain operational for several months



- THE EUROPEAN UNION - An historical achievement
- THE UNION'S INSTITUTIONS - Who does what
- THE UNION'S POLICIES
- ON THE RECORD - Official documents from the Union
- ON THE POLITICAL AGENDA - Next steps to integration
- PUBLICATIONS, ON LINE SERVICES, STATISTICS
- EUROPA A.B.C. - A citizen's guide to major topics
- NEAREST CONTACT POINTS
- WWW SERVERS IN EU OFFICES IN THE WORLD
- GOVERNMENTS ON LINE

WHAT'S NEW on this service

SEARCH on this service

ABOUT EUROPA

Comments on the Europa service are welcome at europa@di.ec.eu

© ECSC - EC - EARC, Brussels-Luxembourg, 1995, 1996

アドレス：<http://europa.eu.int>.

A: ¥ Access. // Lib.



「まず一冊」

文学部英文学科 片岡 章

図書館では学生の皆さんに、本学の図書館を活用して、本をどんどん読んでももらいたいと思っています。私のような者までが「読書をすすめる文」を依頼される破目になったのはそのためです。しかし、正直な所、困っています。何故と言って、これは図書館としては当然の希望ですし、また一方では、今の学生は活字離れが進んでいると言われ、私もそうではないかと心配しているからです。更には、「読書のすすめ」とか「読書案内」の類の本や文章は既に数多く書かれてもいるからです。しかし、仕方ありませんので、私のささやかな経験に基づくささやかなお願いの文を書かせていただきます。

私は大学4年生で就職の時期になったとき、ある会社の入社試験を受けました。筆記試験の会場は本学の1号館で、今は新築された部分にあった教室でした。私は英語が専門でしたが、英語は全受験生共通でしたので、専門は別に選択しなければなりません。戸惑いましたが、経営学の中に「人間関係論」という分野があったことを思い出し、これを選ぶことにしました。それは、たまたまイスラエルの哲学者マルチン・ブーバーの『人間とは何か』（理想社）を読んで感激したことがあり、これを種本にして私の経営学風人間論をつくろうと思ったからです（注：この試験による選抜には残りしましたが、面接でハネられました）。

私の思うのは、どんな本がどんな時に役立つかわからないものだという事です。裏から言えば、私達が何か一つのことに興味を持てば、他の多くのことが自ずとそこに引き寄せられて新しい意味を持ち始め、興味をそそるものになるということです。

特に新入生の皆さんは、これまで「受験」ということに頭を縛られ、自分の本来の関心事を押し殺してこれたのではないのでしょうか。おそらく、一人の例外もなく、大学に入ったら自分のための好きな勉強を好きなだけしようと考えていたと思います。ところが、実際に入学してみると、卒業単位があったり、授業は高校と代わり映えしなかったり、あるいは難し過ぎたりで、予想が外れ、今頃は少々減入っている者もあるかもしれません。

しかし、大学の授業に不足・不満を感じたときには、他力本願にならず、自分で興味・関心をつくり出すように努力するしかありません。そのための最も手取り早い方法はまず何か一冊本を読むことです。そうすれば、これまで自分の中で眠っていた興味や関心が目覚めさせられ、いったんそうなると、そこから次々に興味の網の目が広がり、いろいろな事柄が関係づけられてゆき、「面白くない」と思っていた授業もその網の目の中で輝いてきます。

すべての始まりは一冊の本だと思います。一冊の本が次に読むべき沢山の本のことを教えてくれます。まずは図書館に入り、書架を見渡し、一人一人が自分の一冊を選んで下さい。



図書館の存在

経営学研究科経営学専攻 博士後期課程

2年生 原口 薫子

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。大学生活に期待や夢をふくらませながら入学なさった皆様に、大学の図書館の利用についてお話ししたいと思います。

皆様はこれまで受験を乗り越えるために、いわば強制的に活字に触れる機会多かったのではないのでしょうか。その反動ではありませんが、おそらくこれからどんどん活字離れがすすむこととなるでしょう。それを唯一引きとめてくれる存在が、西南学院大学図書館ではないのでしょうか。大学生活においては、日常生活の合間に、もっと楽しみながら、気楽に、自分のやりたいことに照らし合わせながら、活字に触れる機会をもつことを提案します。

例えば授業のあき時間やどこに行くにも遠く、ちょっと時間をつぶしたい時、1Fの雑誌や新聞に目を通しながらついでにタイムリーな情報を獲得できますし、またAVブースでビデオやレーザーディスク、CDを鑑賞したりなど、娯楽とまではいえませんが、何げなく楽しみながら利用できます。さらに、私は音楽サークルに所属していましたので、楽譜や音楽書を随分利用させていただきました。かなり豊富にそろっています。

つぎに、ゼミの研究や、授業の予習、試験勉強、卒業論文にむけて、腰を据えてじっくり勉強する場合には、文学系、法学系、経済系、商学系とそれぞれの自分の専門分野にあわせての辞書および参考文献や、静粛な勉強の場を与えてくれます。読みたい本を探したい場合には、1Fのパソコンで自由に検索できますし、通常は5冊まで借りることができます。閉館は通常21時ですから、時間的にもじっくり取り込むことが可能です。

このように、西南学院大学図書館はソフトな面とハードの面の両方を補い合うことができる理想的な図書館だといえます。また、数年前に改築されたばかりですので、利用者としては気持ちよく利用することができると思います。利用の仕方は本人次第なので、どれくらい足を運ぶかは自分の気持ちです。ただ、これだけ言えることは、せっかく利用するチャンスを得たのだから、利用しなければもったいないということです。そして利用の場合には、利用者としての最低限度のルールを守ることを特筆します。



図書館はワンダーランド

文学部国際文化学科 高 嶋 祐一郎

新入生の皆さんも、そろそろ大学生活にも慣れた頃だろうと思います。空いた時間は食堂やサークルの部屋で友人とおしゃべりというのでもいいと思いますが、時には別に用はなくても図書館へ寄ってみませんか。

2階から4階まで分野別に並べられた本を見ていくと、今まで見たこともなかった本に出会えるのではないのでしょうか。特に所属する学部の講義に関係ない棚をぜひのぞいてみて下さい。手にとってしばらく立ち読み（あるいは近くのイスに座って、でも使い終わった後は決して棚に戻さず、机の上に残して下さいね。うっかり間違ったところに入ると、次の人が探せませんから）すると、「へー、こんな面白いことがあるんだ」と気づくことでしょう。面白かったら、貸し出しもできるので安心。それから、検索をすれば、閉架にはいつている本も探し出せます。主に外国語や古典の文献が多いのですが、じっくり読むと今までと違ったことを学ぶことが出来るでしょう。

それから、映像ソフトやコンピューターソフトもたくさんあります。レンタルビデオ屋にはない映画もおいてありますから、どうか楽しんで下さい。もちろん SAINS ルームでインターネットと接続することもできます。世界中の新しい情報を簡単に見つけることもできますから、ますます勉強が楽しく（＝大変に）なりました。

でも、こんなこともあるかも知れません。「探していた本が図書館に入っていない」 そんな時にもあきらめるのはまだ早い。日本中（主な外国の大学も）の大学図書館などの所蔵する文献や資料類が、学術情報センターのオンラインネットを調べれば分かります（といっても古い本はまだコンピューターには入っていませんから、手作業で探す必要があることも少なくありません）。そんなときにはカウンターの職員に相談してみてください。近くの大学にあったら図書館で紹介状を書いてもらって出かければ閲覧できますし、遠い大学だったとしても、手続きを踏めば「インター・ライブラリー・ローン」で貸してもらうこともできるのです（必要な本がたくさんある場合は、休暇の時に外かけて読むのもいいと思います。外国の図書館だって円高の今なら「すぐそこ」です）。海外の大学や国立図書館などであっても、ずっと探していた本を見つけると、思わずうれしくなるものです。学部学生のうちにそのような本を使う機会はめったにないと思いますが、「うちの図書館にないから、使えませんでした」などという言い訳は通じないくらいはぜひ知っておきましょう。

「本は古い、これからはコンピューターの時代だ」と思い込む前に一度図書館に寄ってみましょう。「教えられたことを覚える」高校までの勉強の仕方から、「自ら調べ、新しいことを発見する」ための手段として、図書館はまだ重要な役割を果たしていくと思います。さあ、ワンダーランドへあなたもどうぞ。



私の図書館利用法

法学部国際関係法学科 中 村 千 尋

私が西南学院大学に入学してから1年が過ぎた。この間、何回図書館に行ったのだろうか。講義の合い間、暇な時、勉強したい時などはいつも図書館にいた。今となっては自然と足が向いている時もある。

図書館の中に入ると、そこはキャンパスとはうって変わり静かで、きれいに整備されている。ここである時は本を読み、またある時は講義の予習をしたり、レポートを作成したり、やる気のない時は雑誌を読んだり利用しようと思えばいくらでも利用できるのが図書館である。

私は今まで本と呼べるような本は読んだことはなかった。しかし大学に入学すると同時に一念発起し、本というものを読んでみた。最初に手に取った本は世界史の時間に習い、名前だけ知っていたプラトン著作の「ソクラテスの弁明」。この本は深かった。紀元前に書かれていたのにもかかわらず現在までに通じる何かがあった。神が授けた贈り物と自負するソクラテスの言葉に私は至る所で再読を迫られた。だが、ソクラテスの言葉にはまだわからない事がたくさんあったため、理解できるようにいろんな本を読んで勉強をする気になった。

しかし、古い時代から読み続けられている本ばかり読んでいても、まだ現代人に求められる知識は身につかない。国際化と言われている今の時代には最新の国際情勢を知ること必要であろう。そのためには新聞を注意深く読んだり、図書館の本を読んだりしてもよいが、一番よい方法は西南の図書館の2階にある国連寄託図書館を利用することだと思う。国連寄託図書館には欧州連合（EU）や経済協力開発機構（OECD）の資料、それに国連の会議の記録や実際に使われた文書などがたくさんあるので大変便利である。会議の記録、例えば国連で決定した決議があるが、これは普通の本と違い人の目を通して書かれておらず事実、つまり単なる資料なので何を意図して書いてあるのか分析し理解しなければならない。他に会議での各国の発言録もある。これは世界中の国の立場を理解できるようになる。日本に住んでいると、どうしても日本の立場でしか物を見ることができないが、他国の主張などを知ることによっていろんな角度から物を見ることができるようになる。しかも英語で書かれているから英語の学力もつく。

大学での勉強方法は人によって違うと思うが、私が思うに一番よい勉強方法は図書館を利用することである。今まで述べてきた分析能力や英語の力、物事をいろんな視点から見るとはただ単に学校の勉強をやっているも身につかないものだし、社会に出てからきつと役にたつ能力になると思うので積極的に図書館を利用することを私は勧めます。

「図書館のことは図書館の人に聞くのが一番！」

ある日女子学生が入館するなりカウンターの私の所に突進して来てそう言いました。そうです、何でも聞いて下さい。例えば

端末の検索の仕方が分からない。『調整中』の黄色い画面を思わず出してしまったけどどうやったらもとにもどるんだろォ

そんなときにもこっそり席を立てて行かないで…。たずねてくれればうとうしいくらい親切丁寧にお教えます。

西南って雑誌少なぁ〜い

といってあきらめて帰らないでください。本当はたくさんあるんです。閉架書庫に。カウンターで請求してください。買い物カゴに入れてもって来ます。何ヵ月分でも。何年分でも…。

ビデオがあるけどどうすれば見れるのォ？

カウンターで申し込んでください。

図書館の大半の資料は学生が入庫できない書庫、閉架書庫に保存されています。そのためカウンターにある『閉架図書閲覧票』で請求してもらわなくてはなりません。

どんな雑誌を所蔵しているかは、カウンター及び各階に備え付けの『西南学院大学雑誌目録』で調べてください。和文雑誌約6,500タイトル、欧文雑誌は約3,000タイトル所蔵していますので、かなりの要求を満たすことができるのではないのでしょうか。

カウンター横にビデオが配架してありますが、それがすべてではありません。カウンター備え付けの『AV資料目録』で希望のビデオがないか調べてみてください。レーザーディスクは『AV資料目録』と別に『インデックス』と『内容紹介』のファイルがあります。利用したいビデオやレーザーディスクが見つかったら、『AVコーナー利用票』で申し込んでください。

CDもたくさんあります。空いた時間をクラシックを聴きながら過ごすなんていかがでしょう。

カウンターから見た図書館



買わなくていい方法：その1

図書・雑誌の論文が必要なときは、その図書・雑誌を所蔵している他の大学図書館に文献複写を依頼することができます。(複写代金、郵送料など自己負担)

買わなくていい方法：その2

資料を所蔵している大学図書館に直接行って資料を閲覧することができます。図書館長が発行する紹介状が必要です。③西南学院大学図書館に所蔵していないことを確認のうえ、申し込んでください。調べたい資料がはっきりしないなど、利用目的が明確でない場合は紹介状を発行しないこともあります。

買わなくていい方法：その3

所蔵館が遠方の場合、図書を取り寄せることもできます。(郵送料など自己負担)

買わなくていい方法：その4

図書館で買ってもらいましょう！『図書購入願書』(カウンターにあります。)に記入し出して下さい。但し、希望した資料がすべて購入してもらえない訳ではありません。詳しくはカウンターでたずねてください。

4階の端末で検索していたんだけど検索の仕方が分からなくなりました。1階のカウンターまで聞きに行くのは面倒…。

というとき、近くにインターホンがあります。それでたずねてください。職員がとんで行きます。

読みたい資料が西南の図書館に見当たらない。買うしかないかなあ。

というときもカウンターでたずねてみてください。買わなくてもいい方法、あります、あります。

とにかく、図書館について何か分からないこと、不思議に思ったこと、不快に思ったこと、あればなんでもカウンターで訴えてみてください。ゆっくりお話を伺います。探している資料、調査している事柄についていろんな資料を利用して回答します。

自分の研究している内容は高尚でちょっとカウンターの人では答えられそうにないわ。

という方も安心して下さい。カウンターの後の事務室の中にはたくさんの図書館員がいます。レファレンス専門の係もありますから、まずカウンターでたずねてみてください。

時にはカウンターが非常に混雑していて(例えば試験期間中など)リクエストにお応えできないこともあるかもしれませんが、学生の皆さんの要望にはできるだけ応じたいといつも考えています。気軽に利用して、図書館をより身近なものにし、限られた学生生活を有意義に過ごしてください。

※図書館の詳しい利用法については『ガイドブック』を配布していますので参考にしてください。

新着図書・視聴覚資料紹介

図 書

<書名／編著者／出版社／請求番号>

インターネットストラテジー／松岡正剛／

ダイヤモンド社／007. 3. 79

イラストで読むグラフィックス入門／

Prosise, Jeff／インプレス／007. 64. 311

マスコミの歴史責任と未来責任／日本ジャーナリ

スト会議／高文研／070. 0. 19

日本人は思想したか／吉本隆明／新潮社／

121. 0. 26

哲学について／Althusser, Louis／筑摩書房／

135. 5A41. 5

あなたの身近な「困った人たち」の精神分析／

小此木啓吾／大和書房／146. 1. 81

イエスの言葉／Crossan, John Dominic／

河出書房新社／192. 8. 16

荒野を旅する／関谷定夫／梓書院／

192. 8. 17A

京都に原爆を投下せよ：ウォーナー伝説の真実／

吉田守男／角川書店／210. 75. 162

戦後50年日本人の発言（上、下）／文藝春秋／

文藝春秋／210. 76. 83-1, 2

多文化社会のアメリカの歴史／Takai, Ronald

T.／明石書店／253. 0. 72

文化地理学入門／高橋伸夫／東洋書林／

290. 1. 79

現代韓国事情／加藤周一／かもがわ出版／

302. 21. 54

孫文と袁世凱：中華統合の夢／横山宏章／岩波書

店／312. 822. 211

都市政治の変容と市民／大原光憲／中央大学出版

部／318. 04. 25

ヒロシマという思想／松元寛／東京創元社／

319. 8. 322

行政とマルチメディアの法理論／多賀谷一照／

弘文堂／323. 9. 201

PL 法時代の「広告・表現」戦略／山田理英／

産能大学出版／324. 55. 123

現代会社法の課題と展開／青竹正一／中央経済社

／325. 2. 223

日本の裁判／渡辺洋三／岩波書店／

327. 1. 24

新入門世界経済／丸茂明則／中央経済社／

332. 0. 150

わたくしの戦後経済史／金森久雄／東洋経済新報
社／332. 107. 143

クロニクル日本経済事典／牧野昇／東洋経済新報
社／332. 107. 147

アジアシフトの時代／中尾茂夫／創元社／

332. 2. 112

台湾経済入門／小林伸夫／日本評論社／

332. 224. 13

ロシアの自由経済／Fedorov, Valentin

Petrovich／サイマル出版会／332. 38. 81

アメリカの国際経済政策／Cohen, Stephen D.／

三嶺書房／332. 53. 133

行きづまるアメリカ資本主義／脇山俊／

日本放送出版協会／332. 53. 135

経済政策の考え方／河合正弘／有斐閣／

333. 0. 124

グローバル・システムの社会学／Sklair, Leslie／

玉川大学出版部／333. 6. 423

定住化する外国人／駒井洋／明石書店／

334. 41. 17

銀行組織の経済分析／深浦厚之／有斐閣／

338. 0. 52

証券分析の基礎／釜江広志／有斐閣／

338. 15. 73

日本企業のアジア戦略／丸山恵也／中央経済社／

338. 92. 57

行革と規制緩和の経済学／吉田和男／講談社／

09K. 342. 1

アメリカの不思議・日本の不思議／中村雅秀／

かもがわ出版／361. 42. 73

リーダーシップ理論と研究／Chemers, Martin

M.／黎明出版／361. 43. 5

差別の民俗学／赤松啓介／明石書店／

361. 8. 27

生活時間の社会学／矢野真和／東京大学出版会／

365. 0. 104

沖縄における米軍の犯罪／福地曠昭／同時代社／

368. 6. 22

日本の教育力／祖父江孝男他／金子書房／

370. 4. 127

「超」勉強法／野口悠紀雄／講談社／

375. 0. 154

開かれた大学への戦略／Freedman, Leonard／

PHP 研究所／377. 21. 43

自然科学とは何か／桜井邦明／森北出版／

401. 0. 178

環境の世紀日本の挑戦／日本経済新聞社／

日本経済新聞社／519. 0. 127

マルチメディアで変わる政治の未来／小尾敏夫／
NTT 出版／547. 2. 30
インターネットで英語学習／岩村圭南／アルク／
547. 48. 78
農業を考える時代／渡部忠世／農山漁村文化協会
／612. 0. 19
中国の農村発展と市場化／加藤弘之／世界思想社
／612. 82. 1
国際取引における交渉の戦略と英語／則定隆男／
東京布井出版／670. 93. 190
現代日本の商業構造／岡田千尋／ナカニシヤ出版
／672. 1. 66
最新レポートアメリカの流通業／波形克彦／
二期出版／672. 53. 3
野生のテクノロジー／今福龍太／岩波書店／
701. 3. 11
見ることの逸楽／谷川渥／白水社／
704. 0. 131
芸術への挨拶／河北倫明／芸術新聞社／
704. 0. 132
森の形森の仕事／稲本正／世界文化社／
754. 0. 9
しねま・ふらんせ100年物語／清水馨／
時事通信社／778. 235. 22
役に立つ辞書をさがす本／一／バベルプレス／
813. 04. 1
卒論を書こう／榎木伸明／三修社／
816. 5. 22
日本の文学論／竹西寛子／講談社／
910. 2. 101
芥川竜之介と現代／平岡敏夫／大修館書店／
910. 268A39. 12

ことばの森／亀井孝／吉川弘文館／
914. 6. Ka34. 1
アメリカ南部小説の愉しみ／中村紘一／臨川書店
／930. 28St9. 1
概説アメリカの文学／High, Peter Brown／
桐原書店／930. 29. 34
アメリカ女性文学論／鈴江璋子／研究社出版／
930. 29. 37
日本の心、アメリカの心／Davidson, Cathy N.
／DHC／934. D46. 1
フランス詩選／山内義雄／白水社／
951. 0. 26

ビデオ

現代日本の形成過程（全50巻のうち、第1～13、
外7巻）／カラー／各30分／丸善
シリーズ日本が見える「日本の染め込が花」「日本
の伝統包装」他／カラー／各35～55分／電通
花の百名山（全20巻）／田中澄江（監）／カラー／
各55分／山と溪谷社

C D

エクスタシーの歌：ヒルデガルト・フォン・ビン
ゲンの世界／73分／BMG ビクター
新共同訳 旧・新約聖書 全巻（旧：22分冊全81枚、
新：8分冊27枚）／日本聖書協会
バッハ全集（第1巻 教会カンタータ① 12枚）／
各57～71分／小学館
（上記は、平成8年3～5月新着図書＜和書＞・視
聴覚資料の一部です。）

お知らせ

- 1 ◎夏季休暇（7月11日～9月4日）の利用について
2 利用時間 午前9時30分～午後9時
3 閉館日 7月24日（水）～25日（木）
4 8月13日（火）～15日（木）
5 また、工事や修繕のため、急遽、閉館とされるも
6 のは、館内掲示によってお知らせいたします。
7 ◎夏季休暇のための特別貸し出しが、実施されます。
8 受付期間 6月27日（木）～9月4日（水）
9 返却期間 9月18日（水）
10 ◎教育実習・卒業論文用の貸出について
11 別の貸出手続きが必要です。カウンターへ申し出
12 てください。

- 13 貸出日数や貸出冊数が増えることになります。
14 ◎毎月第4木曜日は、コンピューターの保守作業のため、
15 終日、端末機による図書検索ができませんの
16 で、事前に検索をすませておきましょう。
17 ◎照明および冷房の節約について
18 夏季休暇期間中、利用者の状況によって閲覧室3
19 階、4階の照明および冷房を節約する運用となり
20 ますので、ご協力をお願いします。

編集後記

本号の発行には、次の委員の方で発行できました。
森下茂・山方信保・林薫・長岡武史・江原靖子(M)